

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No.	別名	性別	年齢	用量	剤形	副作用	経過	経過の概要	前回公開No.	備考
279	B-05021030	男性	16歳	75mg	非ピリン系感冒剤(4) セラペブターゼ アセトアミノフェン イブプロフェン	激越	回復	インフルエンザA診断後リン酸オセルタミビル投与開始。翌日興奮状態で自宅を飛び出していき、しばらくして帰宅(本人は覚えている。)。その後解熱、興奮(異常行動)回復。	異常-248	
280	B-06025041	男性	16歳	150mg		異常行動 傾眠 失見当識	軽快 軽快 軽快	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。投与開始3日後、平熱。異常行動(いきなり立ち上がり、ボーとしているなど)、意識障害(傾眠)、意識障害(失見当識)発現。経過観察のため、入院。 投与終了4日後、症状改善し、退院。 退院4日後まで、見当識障害あり。 翌日、異常行動、意識障害(傾眠)、意識障害(失見当識)軽快。	異常-249	
281	B-06025191	男性	16歳	150 mg		譫妄	回復	過去に本剤内服があるが、その時副作用なし。 高熱(39℃)が出たため、姉に処方されていた本剤を服用し、受診。 その後、せん妄状態発現(約30分間持続)。 あばれたようになったが、自室に入った。せん妄状態で発熱(39℃)が続いており、落ち着いた頃に本剤を追加服用。 庭に倒れていたところを家族が発見、中2階から転落した様子だが、本人記憶なし。 せん妄状態回復。 翌日、来院、高熱(38.9℃)継続。	異常-250	
282	B-06025425	男性	16歳	75mg	クラリスロマイシン 塩化リゾチーム 塩酸アンブロキシール アセトアミノフェン	意識変容 状態	回復	発熱(37.2℃)、頭痛、咳、鼻症状、関節痛、倦怠感があり、確定診断後、夕方本剤を服用。 夜間帯、ボーっとした感じでベランダに出て行き失踪。 本人が素足のまま帰宅する。本人は、この間の記憶が全くない。	異常-251	
283	B-07000240	男性	16歳	150 mg	バルプロ酸ナトリウム 酢酸デスモプレシン	異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用3日目、暴れだし、階段から飛び降りようとするが、母親がせき止める。同日、本剤服用終了。服用終了3日目、異常行動回復。	異常-252	
284	B-07003912	男性	16歳	150mg	葛根湯 アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。夕方より、本剤服用開始。発熱もおさまっていないのに、とにかく走りたくてしかたがない気分となり、家を飛び出して20分程度ランニングして帰宅。止めることのできない行動であった。 投与開始4日目、熱も下がり、明らかなインフルエンザ症状は改善したにもかかわらず、食欲は極めてあるのに約10日間学校に行くことができない、寝ていなくてはならないしんどさが続いた。 投与開始5日目、朝、本剤服用後、服用終了。	異常-253	
285	B-07005448	男性	16歳	75 mg	アセトアミノフェン テオフィリン	異常行動	回復	夕方、40℃の発熱あり。インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。夕方より服用開始。 未明、急に起き上がり、靴も履かず寝間着のまま外へ飛び出す。近くのコンビニへ行くも10分位で帰宅。その後再び就寝。服用2日目、起床。39℃台の発熱持続。昨夜外出したことは断片的に記憶あり。	異常-254	
286	B-08028874	男性	16歳	75 mg	カルバマゼピン アスピリン メクログラミド ラクタミン 塩酸ミドリン	異常行動	回復	基礎疾患があるため親からの要望で、インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル処方。気分が悪かったので翌日の服用中止。 2回服用し、投与終了。 本剤服用終了から4日目、異常行動発現。大声を出すなど異常行動がみられ近くの内科に入院となったが、階段をのぼったり、9階から1階まで降りたりを数回繰り返す症状があり、内科病院では管理ができないため精神科の病院へ転院治療を受けた。 本剤服用終了から約1ヶ月目、症状改善したとの連絡があった。		2008/4/1以降 新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	転帰	経過	前回公表No	備考
287	B-04007197	男性	17歳	75mg	アセトアミノフェン	幻覚 下肢骨折	不明	インフルエンザA型と診断、リン酸オセルタミビル75mg及びアセトアミノフェンを処方。同日夕方、自宅2階より飛び降り両下肢骨折し、入院。主治医によると本剤を服用していない可能性もあるとのこと。	異常-255	
288	B-04008399	男性	17歳	75mg	塩酸アマンタジン アモキシシリン セラペブターゼ 塩酸アンブロキシオール 耐性乳酸菌製剤(3) ソファルコン	異常行動	死亡	塩酸アマンタジン他を処方。翌日、インフルエンザA型と診断、塩酸アマンタジンを中止し、リン酸オセルタミビル75mgを処方（併用薬は継続）。昼食後内服し、約2時間後、突然素足で飛び出し、1m以上のコンクリート塀を跳び越え線路を横断し、ガードレールも越えトラックにはねられた。胸部外傷によるショック死。主治医によると、平成14年2月に本剤を5日間投与しているが異常なかったとのこと。	異常-256 死亡-16	
289	B-05021111	男性	17歳	150mg	アセトアミノフェン 非ピリン系感冒剤(4) 塩酸エブラジノン アズレンスルホン酸ナトリウム・レー グルタミン	妄想(妄想)	回復	インフルエンザA治療のためリン酸オセルタミビル投与開始。その夜、家人を見て怖い怖いとベランダから逃げるような行動をとる。妄想発現。救急外来受診。翌日回復。	異常-257	
290	B-07000087	男性	17歳	75 mg	塩酸セチリジン	異常行動 自殺企図	回復 回復	インフルエンザB治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。夕方、洗面台の上に立ち上がり、自殺すると20分ほど叫ぶ等の異常行動発現。その後、リビングを駆けまわると。ピョンピョンとぶ。「もうダメだ、どうにもならない、外に出ないと」と興奮。発現4時間後、落ちつくが、本人は覚えていない。夢の中で何か興奮していたと本人は言っている。翌日、舌がマヒ。服用4日目、異常行動回復。	異常-258	
291	B-07004079	男性	17歳	150mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。夜、突然トイレに行き、その後ロックを外し外に出ようとする。ベランダに出た時は飛び降りようとしたので、母親が必死に止め、事なきを得た。 翌日、異常行動回復。	異常-259	
292	B-05025437	男性	18歳	150mg	アセトアミノフェン 塩酸アンブロキシオール	異常行動	回復	A型インフルエンザにてリン酸オセルタミビル服用開始(39.1℃)。2回目服用2.5時間後に突然寝ていたが起きだし、外に飛び出し15分後に戻る。その間記憶なし。翌日(36.7℃)外来受診し本剤中止、異常行動回復。	異常-260	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No.	識別番号	性別	年齢	用量	処方薬	副作用	経過	経過	経過	前回公開No.	備考
293	B-06026848	女性	18歳	150mg	麻黄湯 アズレンスルホン酸ナトリウム	転倒 自傷行動	後遺症 回復	本年3月19日、インフルエンザBと診断。リン酸オセルタミビル5日分等処方される。 処方5日目（3月23日）朝、本剤75mg服用し、その後本剤の服用はしていない。 微熱は続いていたが、咳、痰はなかった。 3月25日朝より手首を傷つけたり、死にたいなどと口走るようになり、家族が気をつけていたが昼頃2階の窓より飛び降りて胸腰椎を骨折。	異常-261		
294	B-07013137	男性	18歳	150 mg		異常行動 異常行動	不明 回復	以前、リン酸オセルタミビルを服用し、外に飛び出る異常行動発現。 A型インフルエンザ（体温39.2℃）に対して、リン酸オセルタミビル服用開始。 服用2日目、家から飛び出していた。本人は何故家から出たかの記憶がない。 本剤服用中止。	異常-262		
295	B-07013376	男性	18歳	150 mg		異常行動	回復	夕方、B型インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル処方。1回目服用2時間後、暴れて外に飛び出そうとしたところを父親が確保。 服用2日目、夕方、本剤服用後も暴れるが、父親が確保。 服用3日目、朝、本剤服用時には症状は発現しなかった。夕方、本剤服用。 本剤3日間服用し、インフルエンザ症状は回復。2回の異常行動について本人の記憶はなかった。	異常-263		
296	B-05022154	男性	19歳	75mg	ジクロフェナクナトリウム 臭化水素酸デキストロメトルファン 塩化リゾチーム アズレンスルホン酸ナトリウム・L-グルタミン クラリスロマイシン バファリンA	激越 落ち着きのなさ	回復	高熱（40.2℃）のため、受診。 咽頭部の発赤、腫脹あり。本剤、ボルタレン他を処方。 帰宅後、本剤、ボルタレン他を服用し、38℃に解熱。 その後、嘔吐し、睡眠する。本剤の服用は中止している。 突然覚醒し、興奮状態（大声を出し、興奮状態でドアをこぶしで叩き壊し、膝蹴りなどでテレビを割るほど騒ぐ：3～4分間）となり、両手甲部に外裂傷。 3時間半後、体温39℃になり、精神状態も落ち着く。 翌日、体温37℃、不穏状態、興奮状態は回復。	異常-264		
297	B-06005344	女性	19歳	150 mg	酒石酸ゾルピデム エチゾラム 非ピリン系感冒剤（4）	自傷行動 健忘	回復 回復	インフルエンザ（診断確定未実施）治療のためにリン酸オセルタミビルの服用を開始した。投与開始から5日目に自傷行為と記憶消失が発現し、約5時間後に回復した。服用開始から6日目にインフルエンザが軽快している。	異常-265		
298	B-07007066	男性	19歳	75mg	アセトアミノフェン 葛根湯	異常行動	軽快	前日昼頃、発熱、咳、鼻汁の症状あり。インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル、アセトアミノフェンを服用し帰宅。服用1時間後、うつろで状態がおかしかった。服用4時間後、大声で叫んだり、わめき錯乱したような状態で、家族の制止聞かず自室からでていこうとするような異常行動あり、救急車にて搬送。経過観察が必要と判断し即入院。	異常-266		

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No	識別番号	性別	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	前回の経過	備考
299	B-08028880	女性	19歳	75 mg	クラリスロマイシン 鎮咳配合剤(1) 塩酸ツロプテロール 塩酸アンブロキシール	躁病	未回復	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル服用。 服用2日目、統合失調症様症状伴う躁状態が発現。気分高揚を自覚。 本剤投与終了から4日目、「私は死んだほうがいい」とベランダから飛び降りようとする行為(母が静止)や「大学は私が創った」といった誇大妄想や人物誤認などがあった。 本剤投与終了から5日目、当院入院中で、薬物療法を継続中。		2008/4/1以降 新規報告
300	B-05023219	男性	20歳	150mg	不明	躁病	軽快	躁うつ病の家族歴あり。 発熱(39.4℃)、咳、鼻症状にて確定診断後本剤処方。夕刻39.7℃内服開始。 翌朝36℃台となるが、夜寝ようとしてもソワソワして眠れなかった(躁状態)。 本剤の服用が終了しても、躁状態継続し、歩き回り、入院となる。	異常-267	
301	B-06022861	男性	20歳	150 mg	塩酸プロカテロール	異常行動 過換気	軽快 回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル投与。当日、異常行動、過換気発現。寝ようとしたら急に不安になって叫びだしたりした。約5時間睡眠後、異常行動軽快、過換気回復。	異常-268	
302	B-07013249	女性	20歳	75 mg	アセトアミノフェン 塩酸プロムヘキシ ン 酪酸菌製剤 ポビドンヨード 塩酸エブラジノン	譫妄 異常行動	回復 回復	A型インフルエンザに対して、リン酸セルタミビル処方。服用後、数時間でうわごと、フラフラと無意識に歩行(この段階では高熱状態継続)。服用2日目、母親、患者の判断により、本剤中止。熱はほぼ平熱に低下。異常行動は回復。	異常-269	
303	B-07003477	男性	23歳	75 mg	塩酸アンブロキシール 塩酸セファペンピボキシル レバミピド アセトアミノフェン 塩酸モサプラミン リスベリドン 塩酸ビベリデン クロルプロマジン・プロメタジン配合 剤(1)	異常行動	不明	A型インフルエンザと診断され、塩酸アマンタジン、カルボシステイン、塩酸セ フカペンピボキシル、レバミピド、アセトアミノフェン(頓用)処方。精神病薬を服 用している。塩酸アマンタジンからリン酸オセルタミビルに変更。帰宅し本剤 服用後、自宅マンション6階から飛び降りる。患者は一命を取り留めるが、現 在身体障害者となっている。 なお、患者はもともと熱を出すフラフラする体質で、異常行動を起こす前に もめまい等起こしている。 (2004年の症例)	異常-270	
304	B-07013331	男性	23歳	150 mg		異常行動	回復	インフルエンザ陽性に対して、リン酸オセルタミビル服用開始。服用開始5～6 時間後(夕方)に急に玄関に飛び出し、玄関前にてぼーっと立ってぼんやりし ている所を親が発見した。その後、意識は回復。患者はその事を覚えていな いとのこと。	異常-271	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No	【別添】	性別	年齢	一日用量	投与薬	【別添】	【別添】	経過の概要	初回公表No	備考
305	B-07003186	女性	24歳	150 mg		異常行動 感情不安定	回復 回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル服用開始。服用後、熱がさがった。 投与開始2日目、元気になった。夜、異常行動、感情失禁発現。吐き気あり。気分が高揚し、走り出したい気分となり、何をみても笑いが止まらない状態となった。自制しようとする意識もあるが、走り出したい自分を止められず、家族に助けを求める。発現1時間後、大声で笑いが止まらない。そのうち笑いが止まらないことに対して泣き出す。見当識障害多少あり。 投与開始3日目、朝、ほぼ元通りの人格に戻った。	異常-272	
306	B-06025316	男性	26歳	150 mg	クラリスロマイシン リン酸ジメメルファン 塩化リゾチーム アセトアミノフェン ジクロフェナクナトリウム	自殺企図	回復	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用後、異常行動（自殺企図：マンションの渡り廊下に登ろうとする。何かにおびえた様子で「死んでから謝ろうと思った」と発言）発現。 落ち着いてから話をすると自分のとった行動に記憶があり、当時不安になるような心当たりはまったくないと由。 翌日、約2時間後に再び異常行動。	異常-273	
307	B-03001089	男性	28歳	75mg	クラリスロマイシン セラペブターゼ 消化酵素 耐性乳酸菌	気分変動	回復	発熱、咳、咽頭痛等有り受診、A型インフルエンザと診断。治療目的にてリン酸オセルタミビル投与。本剤投与10分後、気分変動有り、何をするか分からない（例えば刃物を振り回すかもしれない）感じがした。玄関の辺りでドアを蹴飛ばしたりした後、倒れていたため、救急搬送される。病院にて処置を受けた後帰宅。その後、症状回復。	異常-274	
308	B-07001666	男性	30歳	150mg	アモキシシリン	異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル処方。 服用3日目、寝ていていきなり起きあがり包丁を持つ。 服用4日目、寝ていていきなり、道路に飛び出した。 服用5日目、本剤服用中止。 中止1日後、意識清明。	異常-275	
309	B-06025192	男性	32歳	75 mg	葛根湯 ロキソプロフェンナトリウム	異常行動	回復	発熱あり。インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル服薬4時間後に錯乱状態となり、自宅2階から飛び降り、足を骨折。 骨折のため、他院を受診、その際意識もはっきりしており、体温も36℃台であった。 4日後、整形外科で手術。 入院中、意識レベル正常、異常行動回復。	異常-276	
310	B-06026629	女性	32歳	150 mg	維持液(3) アスコルビン酸 スルピリン・アミノプロピロン配合剤 フルスルチアミン 塩酸リンコマイシン	意識消失 健忘 脱毛症	回復 回復 軽快	リン酸オセルタミビル服用3時間後、夜目が覚めて気がついたらトイレに行っていた。その間の記憶がない。	異常-277	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No.	個別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	経過	経過の概要	前回の報告No.	備考
311	B-07013314	女性	32歳	150 mg		幻覚	回復	インフルエンザに対して（体温は39～40℃）で、リン酸オセルタミビルを服用開始。同日夜、幻覚がみられた。（階段をかけ下りる。）服用3日目、口内炎が発現。本剤中止。その後、幻覚は回復。	異常-278	
312	B-03000831	女性	35歳	150mg	アセトアミノフェン 安息香酸ナトリウムカフェイン 開始液 セフボキシムプロキシセチル 塩化リゾチーム d-マレイン酸クロルフェニラミン サリチル酸ナトリウム 鎮咳剤 アスコルビン酸・L-システイン カルボシステイン	不安 知覚過敏	回復	発熱（38～39℃）、頭痛、関節痛、咽頭痛、咽頭発赤、不穏状態にて本剤投与開始。 翌日の夜中、不眠、不安発現。服用中止。 翌日、幻覚発現し、来院。その後も興奮状態続き、知覚過敏が発現。 その2日後、不眠、不安、興奮状態、知覚過敏、幻覚は次第に消失。 その5日後、回復	異常-279	
313	B-08027728	女性	30歳代	投与量 不明		異常行動	不明	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル服用開始。発熱あり。 異常行動発現。夜に熱が出て、トイレに行き出たところから記憶がない。トイレから出てきた後、家の中を走り回り、テレビ台に激突し、怪我をした。医師を呼ぼうかとの問いかけに対して「知らない」と答え、原因不明の腹痛もあったがそのまま就寝。その際の記憶もない。		2008/4/1以降 新規報告
314	B-06026663	女性	40歳	150mg	炭酸リチウム バルプロ酸ナトリウム エチゾラム ロフラゼン酸エチル マレイン酸フルボキサミン	不思議の 国のアリ ス症候群	回復	インフルエンザB型と診断。リン酸オセルタミビル75mg投与後比較的早く、浮遊感が発現。マンション4階に居住しているがベランダから下をみるとあたかもすぐ近くに地面があるかのごとくの錯覚あり。 鳥の姿がみえるなどの幻視もあったが夫に止められ事なきを得た。	異常-280	
315	B-06026707	男性	45歳	150mg	レバミピド セラペプターゼ ヒベンズ酸チベピジン 塩酸エビナステン	意識変容 状態	回復	A型インフルエンザの診断にて、リン酸オセルタミビル150mg/日処方。歩行中、自分の前後の記憶が一部飛んでるのに気付く。また、踏切の遮断機がおりているのに気付かず、踏切板が頭に当たって恐怖を感じる。	異常-281	
316	B-07000244	女性	48歳	150mg	非ピリン系感冒剤(4) カルボシステイン 塩酸シプロヘパタジン 鎮咳配合剤(1) ジクロフェナクナトリウム 酢酸リンゲル液(ブドウ糖加)(2-2)	錯乱状態	回復	インフルエンザAと診断。午後よりリン酸オセルタミビル服用開始。投与4日目、朝から何度も外出しようとして家族に連れ戻される。午後より、訳のわからないことを言い始める。投与5日目、錯乱状態。	異常-282	
317	B-06004486	男性	49歳	150mg	非ピリン系感冒剤 アスピリン ヒベンズ酸チベピジン リン酸ジメチルファン ブプロフェン 塩酸セトラキサート	死亡	死亡	期外収縮及び心房細動の患者。発熱、咳、鼻症状、関節痛及び倦怠感があり、インフルエンザの疑いで、リン酸オセルタミビルを服用開始（併用薬は左記のとおり）。服用3日目の夜、家人に気づかれないまま車で外出。自宅より30km離れた海の岸壁で車が発見され、人が海に落ちた形跡あり。約2ヶ月後、海中より死亡した本人が発見された。	異常-283 死亡-36	
318	B-06026847	男性	49歳	150mg	酒石酸ゾルピデム	自殺企図	回復	1日分処方1週間後、自殺未遂。首をつろうとしていたのを家族が発見。自殺未遂前に本剤内服していたかは不明。	異常-284	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No	識別番号	性別	年齢	用量	併用薬	副作用	経過	経過の要約	前回の経過	備考
319	B-05025724	男性	51歳	75mg	アセトアミノフェン アミノ酸・糖・電解質（2-3）	精神症状 自殺既遂	不明 死亡	肺結核後遺症に伴う慢性呼吸不全に感冒を合併し入院。経過は良好であったが入院7日目に院内でA型インフルエンザに感染。18時頃、両下肢のしびれ感などの合併があり、将来の健康に関して全般的不安を訴えていた。19時頃に本剤服用開始（体温39.2℃ありアセトアミノフェンを本剤とともに服用）。22時の体温は37.3℃。翌朝5時に生存を確認。6時30分病床不在確認。7時39分飛び降りて死亡しているのが発見された。自室のノートに遺書有り。	異常-285 死亡-51	
320	B-07000264	男性	51歳	150 mg	ジクロフェナクナトリウム アズレンスルホン酸ナトリウム・L- グルタミン	意識変容 状態	回復	インフルエンザ検査陰性。リン酸オセルタミビル投与。夕方、本剤、ジクロフェナクナトリウム服用後、しゃべりにくくなり、また身体が痛く動けなくなる。夜中、他院に受診。インフルエンザ検査陰性。以後本剤服用せず。車で移動中に車から道路に出ようとした。	異常-286	
321	B-07000076	男性	54歳	75 mg	スピロラクトン レボチロキシンナトリウム ニフェジピン 塩酸ジルチアゼム フロセミド	異常行動 譫妄 腎不全	不明 不明 不明	インフルエンザ罹患3日前、糖尿病により右足を形成外科にて手術を受ける。入院。高熱あり。診断キットにてインフルエンザA陽性のため、リン酸オセルタミビル75mg1日2回服用。夜、ベッドから降りベッドの柵に頭を何度も打つ、その後、部屋から出ようとして看護師に制止されるが暴れまくる。後に意識が回復し看護師が暴れていたことを伝えたところ当時の記憶はなかった。服用開始3日目、本剤投与後再度、異常行動、せん妄がみられベッドの上に立つ等の行動があった。CTにて脳出血等の異常なし。腎不全の疑いもあり。異常行動はジアゼパムで鎮静。	異常-287	
322	B-08027574	女性	55歳	150 mg	カルボシステイン セラペプターゼ レバミピド ポピドンヨード 乳酸リンゲル液（マルトース加） チアミンジスルフィド・B6・B12配合 剤	意識消失	回復	朝当院受診し、インフルエンザA型と診断。リン酸オセルタミビル、ビタミン剤等を処方。午後および就寝前に本剤服用したところ、翌朝、意識消失発現。朝食準備中意識消失あり。気がつくまで床に倒れていた。その後、勝手口まで歩き再び意識消失し、地面に倒れた。顔面打撲あり。勝手口まで歩いた記憶もない。本剤中止。服用中止後、再発なし。		2008/4/1以降 新規報告
323	B-05020017	男性	56歳	150mg		精神症状 （精神症 状）	回復	インフルエンザ治療目的としてリン酸オセルタミビル投与。本剤服用4日目、夜分服用し2時間後に精神症状発現。突然うつ状態になり、自殺したくなる。窓から飛び降りたくなる衝動にかられる。翌日、精神症状回復したが、本剤服用を自発的に中止。	異常-288	
324	B-05024386	男性	58歳	150mg	アミノフィリン リン酸ベタメタゾンナトリウム フロモキシセフナトリウム 維持液（3） プロピオン酸フルチカゾン テオフィリン 塩酸フェキソフェナジン ファモチジン	意識変容 状態 呼吸困難	回復 回復	A型インフルエンザの確定診断を受け、リン酸オセルタミビルを投与開始初日の夕方と就寝前に服用。投与開始から2日目の午前5時に呼吸苦が発現し、暴れ出した。また、意識障害が発現した。呼吸苦は発現当日に回復し、意識障害は発現翌日に回復した。	異常-289	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No.	識別番号	性	年齢	一日用量	常用薬	副作用	経過	経過の要約	前回公表No.	備考
325	B-07000263	男性	58歳	150 mg	酒石酸ソルピデム 鎮咳配合剤(1) ロキソプロフェンナトリウム デブレン 乳酸リンゲル液(マルトース加) アセトアミノフェン	意識変容 状態 譫妄	回復 回復	B型インフルエンザと診断し、乳酸リンゲル液、リン酸オセルタミビル、アセトアミノフェン処方。夜、本剤服用2～3時間後、就寝。 服用2日目、朝、本剤服用中止。起床1時間後、意識障害、せん妄発現。患者より、本人の言動がおかしい(知らない人がここにいるとか、何か見えてとか幻視がある)との連絡有。起床3時間後、来院。全身の脱力感とせん妄状態あり。沈静目的でフェノバルビタール投与するも改善しないため、一過性の脳虚血発作を疑い、検査入院依頼。結果、脳虚血発作の可能性は薄いとのこと。昼過ぎ、点滴除去や院内より脱走する様な異常行動あり、脳外科へ転科。インフルエンザは回復。 服用から3日目、意識障害、せん妄回復。	異常-290	
326	B-06025002	男性	59歳	150 mg		異常行動	未回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。異常行動発現。本人に記憶なし。本剤投与中止。本剤服用5日後、症状は回復傾向であるが、異常行動未回復。	異常-291	
327	B-07019905	女性	60歳	150 mg		異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用後、睡眠中に目の前が真っ赤になり、火事だと思い、家から飛び出した。また、菊の花が見えて、それを取ろうとすると花が前にすすんで取れない。このような状況で怖くなり、なるべく寝ないようにして	異常-292	
328	B-07018337	女性	61歳	75 mg	トリクロルメチアジド ロサルタンカリウム ベシル酸アムロジピン メシル酸ベタヒスチン 2339224 アルブラソラム 酸化マグネシウム ウルソデスオキシコール酸 ファモチジン ポリエンホスファチジルコリン	異常行動	回復	関節痛、鼻炎症状、発熱のため受診。インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤1回目服用数時間後、横断歩道にて待機中、信号は赤であるにも関わらず、ふわっとした感じで飛び出してしまいそうになった。車のクラクションを鳴らされ、無事であった。その後は服用せず。	異常-293	2008/4/1以降 追加報告

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No.	品名	性別	年齢	用量	投与薬	副作用	経過	経過の要約	前回公表有	備考
329	B-08028415	女性	61歳	150 mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザ確定診断実施にてインフルエンザ抗原Aが検出され、リン酸オセルタミビル服用。 本剤服用30分～1時間後、精神障害、異常行動発現。ねむっている状態から起き出し、歩きまわる、ぶつぶつ一人言を言ったり、手で腹をたたきながら歌ったりする。 昼間、同様なことがおこる。約5時間後、副作用は消える。平熱時に本剤を服用しても同様の症状が現れる。本人の自覚はじっとしていられなくなるなど。また、熱いので窓を開けて外を見たら5、4階に住んでいるのに芝生が1階に住んでいるように上昇して見えた。		2008/4/1以降新規報告
330	B-08028146	女性	62歳	投与量不明		異常行動	不明	インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル処方。 服用開始より3日目、夜に異常行動発現。知らない間に歩き回った（隣のマンションにいた）。		2008/4/1以降新規報告
331	B-06025118	男性	64歳	150mg	塩酸アミトリプチリン アロプリノール 沈降炭酸カルシウム アスピリン オメプラゾール マレイン酸エナラプリル ベシル酸アムロジピン アルファカルシドール ポリスチレンスルホン酸カルシウム	精神状態変化	不明	合併症としてうつ病、慢性腎不全あり。 発熱(39℃)、倦怠感あり、インフルエンザAと診断され、リン酸オセルタミビル投与。 翌日中、ぼんやりして立ちつくす。夜、不眠、じっとしていられず動き回る。 投与3日目、本剤服用中止(計5カプセル服用)。服用終了後5日目、落ち着かない様子あり。 服用終了1週間後、「死にたい」、「殺してくれ」と言い、落ち着かない。 服用終了10日目、体調不良を訴える。36.5℃の熱。ボーとしているが、落ち着かない印象あり。夕方、灯油をまき、自殺するつもりでマッチで火をつけたが、すぐに消火され保護される。	異常-294	
332	B-05018850	女性	67歳	150mg	インフルエンザHAワクチン 塩酸パロキセチン フルニトラゼパム 酒石酸ゾレピデム 塩酸ラロキシフェン アセトアミノフェン	劇症肝炎	不明	2日前、インフルエンザワクチン接種。 発熱、咽頭痛より、インフルエンザを疑い本剤5日間投与。 投与終了1日後、急性肝炎疑いで入院。 投与終了5日後、ベットより飛び降りたり、大声で叫ぶ。血漿交換のため転院。	異常-295	
333	B-08030324	男性	69歳	75 mg		異常行動	回復	咳、痰あり。インフルエンザ陽性にてリン酸オセルタミビル服用。体温37.4℃（その後も上がらず）。 服用4日目、明け方、異常行動発現。一人2階のベランダに佇む患者を家族が発見。（翌日記憶なし）。 日中、家の壁にムカデ、ゴキブリが無数にいたとの幻覚。心配になった家族が他院に連絡相談したところ、本剤の服用中止を指示された。 翌日、寝室に軍服の軍人が3名手招きをする幻覚が発現。（軍人の幻覚はその後も度々続き、後半は会話をしていた）。 本剤服用終了から3日目、深夜2階に寝ていたはずの患者が突然玄関に現れた。大きな怪我はないものの顔や衣服に泥がついており擦り傷もみられたことから、どうやら2階から転落、もしくは飛び降りた様子。救急車にて当院に搬送。インフルエンザ脳症を疑い脳波、MRI等の各種検査実施。治療は特に問わずルート確保の補液のみ。入院。 本剤服用終了から7日目、異常行動の転帰は回復。		2008/4/1以降新規報告

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）

（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No	識別番号	性	年齢	一日用量	併用薬	副作用	投与	経過の概要	前回公開No	備考
334	B-06001534	男性	71歳	150mg	塩酸プラザシン メチルドパ ロラタジン ヒベンス酸チベジン 非ピリン系感冒剤(4) 塩酸セトラキサート 鎮咳配合剤(1) セネガ	平衡障害 異常行動	回復 回復	A型インフルエンザで発熱(38.0℃)が見られ、リン酸オセルタミビルを服用を開始した。服用開始から約2時間後に平衡機能障害が発現し、約5時間後に回復した。初回服用から約5時間後にリン酸オセルタミビルを服用し、約2時間後に異常行動(田植えをしている動作)が発現し、約24時間後に回復した。	異常-296	
335	B-06017551	女性	71歳	150mg	アミノフィリン アジスロマイシン水和物 モンテルカストナトリウム プロチゾラム 塩酸クレンブテロール ファモチジン チアマゾール ブドステイン ブレドニゾン アセトアミノフェン	譫妄	回復	喘息、甲状腺腫の既往歴あり。気管支喘息のため入院後、アミノフィリン、ブレドニゾン投与後、アジスロマイシン水和物を処方。発熱があり、インフルエンザAによりリン酸オセルタミビルの投与開始。4日後夜、失禁、夜間せん妄発現。翌日朝以降症状なし。5日後まで投与継続、インフルエンザ回復。	異常-297	
336	B-05000692	男性	72歳	150mg	非ピリン系感冒剤(4) アセトアミノフェン	痙攣 意識変容 状態	回復	38℃の発熱と咳嗽により受診、インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビルを4日間投与。突然大きないびきと共に暴れ出す。意識障害と痙攣、全身間代性発作発現。7分後発作消失。意識は約1日半後清明となる。高CK血症、GOT、LDH上昇あり。	異常-298	
337	B-05000875	男性	72歳	150mg	エスタゾラム トリアゾラム 酒石酸ゾルピデム プロムフレリル尿素 エチゾラム ジアゼパム ワルファリンカリウム 塩酸チクロピジン 塩酸メホルミン マレイン酸トリメブチン シルニジピン	譫妄(せん妄)	回復	脳梗塞、腎臓、不眠症、糖尿病、高血圧の既往症。39℃の発熱があり受診、インフルエンザBと診断され、リン酸オセルタミビルを投与。当日解熱したが、夕食後本剤を服用、同時に常用薬の眠剤も服用。その後せん妄が発現。部屋を引っかき回したように荒らしている。翌朝にはせん妄は回復。解熱まで眠剤の服用を禁止し、本剤と他の薬品の服用時間をずらすよう指示したところ発現せず。	異常-299	
338	B-08016131	男性	73歳	75 mg	ニコランジル クエン酸モサプリド 塩酸セベラマー 酒石酸イフェンプロジル オルメサルタン メドキシミル ランソプラゾール センソノド アセトアミノフェン アズレンスルホン酸ナトリウム・L-グルタミン	異常行動	回復	糖尿病性腎症による外来維持患者。歩行困難で来院され、体温38℃、インフルエンザ陽性で観察入院となる。入院翌日より、リン酸オセルタミビルを服用開始。服用約12時間後、異常行動発現。病棟徘徊し、「家に帰る」と訴える。服用約16時間後、何度も起き上がり、再度、「家に帰る」と訴える。職員が安全性の面からも病室滞在を促すも、理解力低下。不穏状態を示す。透析実施するも言動が少しおかしいとのこと。本剤服用控える。その後も帰宅を希望されつづける。本剤服用終了から3日目、家族と連絡がとれ、熱もさがった。本剤服用終了から4日目、退院。その後異常行動は見られない。		2008/4/1以降 新規報告
339	B-05024268	不明	74歳	150 mg		異常行動 大腿骨骨折 幻覚	未回復 未回復 不明	A型インフルエンザで発熱(39.5℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの投与開始。投与開始当日に異常行動が発現した。投与開始から3日目にインフルエンザが軽快し、リン酸オセルタミビルの投与が終了した。投与終了翌未明、徘徊。投与終了後から2日目に2階より飛び降りて大腿骨を骨折した。	異常-300	

異常な行動が記録されている事例の概要（年齢順）
（販売開始（平成13年12月）から平成21年3月31日まで）

No	識別番号	性別	年齢	用量	処方薬	副作用	経過	経過の概要	前回のNo	備考
340	B-02013397	女性	79歳	150mg	硝酸イソソルビド バルサルタン オメプラゾール 酸化マグネシウム トリアソラム センノシドA、B センノシド 塩酸パロキセチン水和物 マレイン酸レボメプロマジン	妄想 落ち着きのなさ	軽快	被害妄想顕性化のため入院加療、抑うつ神経症の診断あり。インフルエンザ感染症を疑い、リン酸オセルタミビル150mg/日5日分を処方。投与3日目未明、意味不明語、妄想、不穏、徘徊あり。他剤投薬により少しずつ精神状態安定化。本剤継続。本剤5日間の投与終了後、3日目に症状軽快し、経過観察中。	異常-301	
341	B-06016893	男性	83歳	150mg	テオフィリン コハク酸メチルプレドニゾンナトリウム アミノフィリン 維持液(17)	譫妄	回復	慢性腎不全、洞不全症候群、脳梗塞の治療継続中。ペースメーカー留置。発熱、呼吸苦、低酸素血症、炎症反応によりインフルエンザ確定診断を実施。入院後、点滴(コハク酸メチルプレドニゾンナトリウム、アミノフィリン)及びリン酸オセルタミビルを投与開始。2日目、落ち着きがなくなったり興奮気味、せん妄発現、点滴投与中止。3日目夕方よりリン酸オセルタミビル投与中止後、ハロペリドール投与(3日間)。4日目せん妄回復。以降症状なし。	異常-302	
342	B-06025119	男性	83歳	150 mg	オルメサルタン メドキシミル ベシル酸アムロジピン リン酸ジソピラミド アスピリン ワルファリンカリウム 塩酸ドネペジル レボフロキサシン ロキソプロフェンナトリウム	異常行動	回復	発熱38.2℃。A型インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル投与開始。本剤投与開始3日目、昼前まで寢床にいた。異常行動(家をとび出し、軽トラか何かで家の周りを、数週まわっていた)出現。その後、除草剤を飲んだ。夜、嘔吐とけいれん出現。意識消失。インフルエンザ軽快・回復。	異常-303	
343	B-08027729	女性	84歳	152 mg		異常行動	回復	インフルエンザA型治療のためリン酸オセルタミビル服用開始。異常行動発現。夜中に覚醒して、「仏壇に金を取りに行く」と言って出口を間違え、外に出る出口を開こうとした。不眠症も数日続いていた。		2008/4/1以降新規報告
344	B-03008735	女性	85歳	150mg	乳酸リンゲル液 医療用酸素	全健忘	回復	上咽頭粘膜のインフルエンザA抗原陽性と診断後、リン酸オセルタミビル150mg/日を投与開始。投与3日目まで有害事象発現せず。最終投与後未明に失見当識及び病棟内徘徊(但しミオクローヌスはなし)。翌朝も記憶力低下が観察される。患者家族と相談の結果退院後、処置なしで回復。但し、有害事象継続中の記憶は欠如のまま。	異常-304	
345	B-05024865	男性	85歳	150mg	アスピリン 酒石酸イフェンプロジル 塩酸タムロシン ヒトインスリン(遺伝子組換え) 非ピリン系感冒剤(4) 臭化水素酸デキストロメトルファン スバルフロキサシン ジクロフェナクナトリウム	譫妄	回復	A型インフルエンザで発熱(38.5℃)が見られ、リン酸オセルタミビルの服用を開始した。服用開始から2日目にインフルエンザが軽快・回復した。投与開始から3日後にせん妄(窓を開けて外へ出るなど)が発現し、せん妄発現から3日目の朝にせん妄から回復した。	異常-305	